

本特集のアフタ様病変は、いわゆる口腔内のアフタに類似した病変で、比較的よく遭遇する病変である。“腸管アフタ様病変”は、アフタに類似した病変をやや幅広くとった病変であり、びらんから小潰瘍まで含んでいる。ほとんどの炎症性腸疾患(感染性を含む)にみられる。本特集ではそれ自体小さな病変であるアフタ様病変から疾患の鑑別診断を形態学的な立場(病理学的所見, X線所見, 内視鏡所見)で述べているが、これらの所見には検査方法によって微妙なニュアンスの違いが

あることは仕方がない。しかし、これまでアフタ様病変として一括していた所見が、本特集によりアフタにも形態学的にみて種々の特徴があって、病変に対する注意深い観察が必要であることが理解されれば、本特集を組んだ甲斐があることになる。アフタ様病変は組織学的所見と共に免疫学的な関連性が注目される所見である。今後、このアフタ様病変の重要性は、臨床例の増加により明らかになると思われる。

胃と腸

5月号(第28巻・第6号)予告

発売予定 5月14日
定価 1,957円(税込)

大腸腫瘍切除後の経過追跡

序 説	東大・1外	武 藤 徹一郎
主 題	大腸腺腫摘除後は癌のハイリスクか	東大・1外 沢田 俊夫・他
	ポリペクトミー後の局所再発病変の特徴	国立がんセンター・放診 石川 勉・他
	表面型大腸腫瘍の経過観察	早期胃がん検診協会 前納 健二・他
	表面型大腸腫瘍の内視鏡的切除後の経過観察に関する検討	秋田日赤・胃腸センター 工藤 進英・他
	大腸癌術後の残存腸管は癌のハイリスクか	癌研・内科 小泉 浩一・他
主 題 研 究	5 mm 以下の大腸腺腫の追跡調査	都がん検診センター 志賀 俊明・他
座 談 会	大腸腫瘍切除後の効果的サーベイランスはどうあるべきか	癌研・内科 丸山 雅一・他
今月の症例	1. 食道癌肉腫の1例	都立駒込病院・内科 門馬久美子・他
	2. 胃悪性リンパ腫の1例	藤田保衛大・消内 大橋 秀徳・他
症 例	びまん性粘膜下異所腺に合併した多発早期胃癌の1例	岐阜大・放 後藤 裕夫・他
	食道胃接合部に発生した pseudomalignant erosion の4例	大分医大・2内 高崎 英巳・他
	大腸顆粒細胞腫の1例	京都第一日赤・2内 伊藤 義幸・他

胃と腸 (第28巻 第5号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03)3817-5714

販売部直通 (03)3817-5659

1993年4月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 1,957円(本体1,900円)(配送料81円)

年ざめ予約購読料 26,240円(本体25,476円)

(増刊号4,120円を含む13冊)(送料弊社負担)

FAX (03)3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03)3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1993, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3269-5784)の許諾を得てください。

(担当)窪田・渡邊・江口・長谷川